

2、目標達成計画

事業所名 グループホームあがの

作成日 令和5年7月7日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	「BCP計画の作成」 令和6年3月31日までに作成が義務付けられるBCP計画の立案がまだ出来ていない現状の存在。	「災害時などの緊急時に稼働可能なBCP計画の立案」	令和6年3月31日までに、BCP計画として既存の防災マニュアルをブラッシュアップさせて体系的に整える。 その一環として、利用者の個人ごとの既往歴・服薬情報を記載した書面を用意し、これを防災バッグの中に保存する。加えて、発電機を購入する。	6か月
2	62	3年程度続いた新型コロナウイルスの影響の為、利用者が戸外に出る機会が著しく少なかった実態の存在	「各利用者が楽しめるように、戸外へ出る行事を今後定期的に再開する。」 「利用者および家族から外出・外食・外泊などの希望が出された際にはこれを快く受け止め、希望に沿うようにする。」	毎月出している家族あての連絡に、外出・会食外泊などが解禁になった旨を伝え、遠慮なく申し出が出来る印象で受け止められる文面でお送りする。	3か月
2	28	利用者の状況変化がタイムリーに反映された介護計画の準備が不十分である点	「従前の介護計画に基づいたケア結果のモニタリング結果を受けて、利用者に状況の変化が認められるのであればこれを適宜に介護計画の修正に繋げる。」 「介護計画の指示ツール・コミュニケーションツールとしての機能を常に意識できるように職員間で意識を心がける。」	管理者・ケアマネ・介護士間で今回の指摘事項とその趣旨の共有をする。	1か月
2	68	「職員の評価制度がさらに改善可能である点」	「各職員が自分の実力が反映された納得感の持てる評価制度が計画・共有・実行されることで、良い意味で職員間の実力のブラッシュアップが図られること」	現状の自己評価制度・管理者による査定制度を、より効果的かつ各職員が改善点を具体的に意識出来て、これを前向きに受け止められるような制度を計画して共有する事	6か月
5	なし	“科学的介護”への対応が不十分である点	中期的な目標として、科学的介護への耐久力のある介護記録制度を整える。	弊所は現在LIFEへ登録をしているが、これに必要となる介護記録の保存状況が出来ているとは言い難く、グループホーム運営の中期的な将来を見越したうえでは大きな障害となる可能性がある。これに対応するために、コンピュータを使用した介護記録も視野に入れたい。	2～3年